

令和 4年度予算見積調書

課室名：国際課
 担当名：国際戦略担当
 内線：2713

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B24	誰でも国際交流埼玉版SDGs推進事業		一般会計	総務費	県民費	国際交流費	国際交流事業費	
事業期間	令和 3年度～	根拠法令			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	4
					分野施策	0801 多文化共生と国際交流のSAITAMAづくり	SDGsターゲット	4-7
1 事業概要			5 事業説明					
スポーツやオンラインの活用により、国際交流へのハードルを低くし、希望する人に幅広く交流の機会を提供する。 多様な文化や価値観に直接触れることで、多文化理解やグローバルな思考力を身に付けさせ、2030年以降の社会を支える子ども・若者を育成する。								
(1) 国際スポーツSDGs推進事業 1,339千円 (2) 姉妹友好州省との学校間交流等を通じたSDGs人材育成事業 870千円								
(1) 国際スポーツSDGs推進事業 1,339千円 (2) 姉妹友好州省との学校間交流等を通じたSDGs人材育成事業 870千円								
2 事業主体及び負担区分			(1) 事業内容 ア 国際スポーツSDGs推進事業 1,339千円 イ 姉妹友好州省との学校間交流等を通じたSDGs人材育成事業 870千円 (2) 事業計画 ア 国際スポーツSDGs推進事業 ・ 県内プロスポーツチームが実施する国際親善試合等に合わせ、スポーツ選手と県内の若者・子供たちが交流する機会(学校、病院、福祉施設等の訪問)を提供する。 イ 姉妹友好州省との学校間交流等を通じたSDGs人材育成事業 ・ 姉妹友好州省と県の学生・高校生間のオンラインでの交流を通じてSDGsの普及を図り、若者ならではのSDGsの視点による地域課題解決を試みる。 ・ 姉妹友好州省と県内学校のリアル・オンライン交流を実施し、地域課題の発見・解決策の提示や、海外との交流を通じた語学習得や多文化理解などができるSDGsの理念を理解した人材を育成する。 (3) 事業効果 ・ 国際交流への障害を取り除き、子ども・若者が広く国際交流に参加できるようになる。 ・ 埼玉から世界に通じるSDGs人材を育成する。					
事業主体：県								
負担区分：県10/10								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			9,500千円×1人=9,500千円					
9,500千円×1人=9,500千円								
9,500千円×1人=9,500千円								
9,500千円×1人=9,500千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	2,209						2,209	△1,361
前年額	3,570						3,570	